

西播のミヤマカラスアゲハ採集例

唐土洋一

ミヤマカラスアゲハはカラスアゲハに比し、名前の通り深山に棲息する蝶と言われてきた。西播においても、そのように思われてもき、従来、瀬戸内海に面した地方には棲息していないものと思われてもきた。相生市においては北部の三濃山(509m)およびその山麓一帯に少ないながらも広く棲息しており、赤穂市、赤穂郡上郡町、竜野市、揖保郡御津町等においては、これまで、採集記録の発表がなされていなかった。この度、これらの地域にて本種の棲息等を確認したので報告しておく。

採集例：

その1 赤穂市周世 1♀ 30-IX-1981

食樹であるカラスザンショウは少ない。赤穂市においては比較的自然的度の高い地域である。クサギの花上にて吸蜜中のものを採集し、採卵用に持って帰り、産卵させた。

その2 赤穂郡上郡町野桑 1♂ 20-VII-1980

モンキアゲハと一緒に山道上で吸水中のものを採集したが、かなり痛んでいたため放す。食樹であるカラスザンショウは今のところ未発見。

その3 竜野市竜野公園 1♀ 30-VII-1978 羽化

竜野公園は食樹であるカラスザンショウが豊富である。カラスザンショウより6卵採集し、飼育したものであるが、たまたま仕事で出張中に羽化してしまった。

その4 揖保郡御津町室津 1♀ 15-IX-1982

ヤブガラシの花上にて吸蜜中のものを採集したが、痛みがひどく、前足2本のみであった。採卵用に持って帰り産卵させたが、腹中に多数の卵を残して死亡した。食樹であるカラスザンショウは今のところ未発見、となりの岩見には見受けられる。

追記

①広畑政己氏によれば、赤穂郡上郡町宇野山においては、養蜂業者が蜜源用にキハダを植えており、本種がこれを食樹として、棲息している由。

②花岡正氏によれば、赤穂郡上郡町黒石にて、オオムラサキ採集時によく目撃するとの事である。

本稿を草するに当り、有益な助言をたまわった、広畑政己、花岡正氏に未筆ながら御礼申し上げる。

(参考文献)

- 広畑政己 (1976) 兵庫県下に於けるミヤマカラスアゲハの変異について てんとうむし Vol. 1 No. 3
- 山本広一 (1967) 兵庫県のミヤマカラスアゲハについて 兵庫生物 Vol. 1, 5 No. 3~4
- 尾崎 勇 (1980) 兵庫県の蝶(1) 千種川水系の蝶相ひろおび No. 5
- 岩村 巖 (1968) 西播の蝶分布資料(5) 赤相の蝶類 兵庫生物 Vol. 1, 5 No. 5
- 唐土洋一 (1966) 三濃山のミヤマカラスアゲハのう Vol. 1 No. 1
- 岩村 巖 (1979) 西播の蝶分布資料(6) 赤穂市の蝶類 ひろおび No. 4
- 岩村 巖 (1969) 続兵庫の自然 相生市三濃山のチョウのじぎく文庫 神戸

(S.18: Youichi Morokoshi 相生市)

西宮のナガサキアゲハ

法西定雄

ナガサキアゲハが分布を広げ北上していることは新聞紙上にも出ている。(註)

私も今年('82)、西宮市内で目撃および、採集したので報告する。

(1) 7月15日朝8時頃 上ヶ原関西学院構内でスイカズラ科アベリアの花で吸蜜している1オスを目撃。

(2) 9月4日12時頃 甲東園市場の中塚荒物店内に1オス飛来、家に帰り捕虫網を持ってきて採集。

(3)(2)と同日、15時頃 関西学院構内バラ園付近で1オス採集。

(註) 1981年9月22日付朝日新聞朝刊

ナガサキアゲハ

阪神間で相次いで発見 分布の北限変わる

(Sadao Hōsai 西宮市)